

2023 年度

社会福祉法人

安曇野市社会福祉協議会

事業計画書

■ 実施期間 : 2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日



社会福祉法人 安曇野市社会福祉協議会

目次

社会福祉法人安曇野市社会福祉協議会 2023 年度事業計画書

I 理念・基本方針・ビジョン	3
II 経営環境の変化	4
III 重点テーマ	5
IV 各課の事業計画	
1 地域福祉課	7
(1) 地域福祉係	10
(2) 各支所地域福祉係	21
(3) 子育て支援係	26
2 介護事業課	31
(1) 介護保険サービス事業	32
(2) その他の事業	37
3 障がい福祉課	39
(1) 相談支援事業	40
(2) 就労支援事業	41
(3) 地域活動支援センター	43
(4) 生活介護事業	44
4 総務課	45
(1) 人事	46
(2) 広報	50
(3) その他のデータ	51

I 経営理念・基本方針・ビジョン

経営理念

支えあい 誰もが安心して暮らせる福祉のまち 安曇野

基本方針

- 1 私たちは、住民の声に耳を傾け、時代とニーズに即した効果的な事業を展開します。
- 2 私たちは、常に住民の立場に立ち、その人権を尊重します。
- 3 私たちは、多くの諸機関・諸団体と連携・協働し、広域的なネットワークを構築します。
- 4 私たちは、専門職としての自覚と責任を持ち、常に資質の向上に努めます。
- 5 私たちは、開かれた組織づくりと健全な経営に努め、組織の基盤強化を図ります。

ビジョン

地域福祉課	福祉学習及び住民主体の支え合い活動を推進し、住民が抱える一つひとつの生活課題を解決できる地域をつくります。
介護事業課	生きにくさ、暮らしにくさを抱えた高齢者・障がい者が“生まれてきてよかった”と思える人生づくりに貢献します。
障がい福祉課	どんな障がいがあっても、個人としての尊厳にふさわしい生活を営むことができるような支援の環境をつくります。
総務課	全ての職員が理念の実現に向けて健康的に、安心して、やりがいを感じながら、互いに高め合い、気持ちよく働ける職場をつくります。

◆スローガン

思いやりの心を大切に、ずくだせ・知恵だせ・元気だせ

II 経営環境の変化 (主なもの)

■ ますます求められる住民の社協への理解と協力

長引くコロナ禍に、燃料費をはじめとする急激な物価の高騰も加わり、日常生活における住民の不安はますます膨らんでいます。そんなシビアな社会不安の中で、社協の独自財源の一部でもある「赤い羽根共同募金」のあり方に関する新聞報道等が世間に波紋を呼んでいます。社協会費も併せ、その募り方はもとより、地域住民の社協に対する理解を高め、より自発的な協力を得られるための方策の検討と実行が求められています。

■ 児童館利用者数の減少、放課後児童クラブの拡充

令和2年度に大きく落ち込んだ自由来館者数は、なかなか以前の数値に戻りません。長引くコロナ禍の影響だけでなく、進行する少子化や保護者の職場復帰の早期化なども背景にあると考えられます。そんな中新たな5年間の指定管理期間が始まります。時代のニーズをよりの確に捉え各館や地域の特性を生かした事業展開が求められます。一方放課後児童クラブ事業では、市による小学6年生までの利用拡大が進み、実施単位数は更に増加する見込みです。

■ 介護事業者の休廃業・解散が過去最多

令和4年は、コロナ禍による利用控えや、人手不足、物価高騰などを受けて、倒産も含めると600社を超える事業所が介護保険の市場から退出しました。

■ ウィズコロナへの対応、法定雇用率引き上げに向けた対応

ウィズコロナが模索される中、合同販売会の再開等、販売機会の回復が期待されます。また4年度までに始まった受託事業を継続しつつ作業バランスを取っていく等、工賃確保のための対応が求められています。

法定雇用率の段階的引き上げが予定されており、就労継続支援B型事業所からの一般就労も視野に入れた支援が求められます。同時に当会での法定雇用率を向上するために職員の意識の醸成、職場と採用者へのきめ細かなサポート等、課を超えた対応が必要になっています。

■ 福祉サービス職の人材不足

厚生労働省統計によれば、介護サービス・社会福祉の専門職が人材不足の上位となっており、当会においても慢性的な人材不足となっています。

物価高騰による実質賃金低下への対応や意欲・能力を十分発揮することができる職場環境づくりによる人材確保が急務となっています。

Ⅲ 2023 年度重点テーマ

法人全体	<ul style="list-style-type: none"> ○法人内外の連携を強化し、地域共生社会の基盤づくりに貢献します。 ○持続発展する法人運営を目指し、福祉人材の「確保」「育成」「定着」に努めます。
-------------	---

【地域福祉課】 【互いに支え合う地域づくりに向けて ～今必要なことは何か～】

【地域福祉係】	
①場づくり	・地域住民が、自分のできることで参加・活動できるきっかけとなる“場”を創ります。
②活動継続の支援	・長引くコロナ禍により停滞した、地域における住民主体の地域づくり活動の「再興」と「継続」を支援します。
③意識づくり	・広報周知活動を充実させ、地域住民の社協事業への関心・地域づくり参加への意識の高揚を図ります。
【子育て支援係】	
①地域住民の参加促進	・様々な地域住民が、「やりがい」「生きがい」をもって児童館事業・子育て支援事業に関われるよう配慮工夫します。
②時代に対応した新たな事業展開	・コロナ対応、SDG's、生活困窮者支援、病児・障がい児対応 など、今求められる児童館の役割を追究し実践します。
③拡充する放課後児童クラブ事業への対応	・安全・安心な環境が担保された今後の児童クラブ拡充のために、日頃から現場としての課題把握や改善に努め、関係機関との準備計画に十分に反映させていきます。

【介護事業課】 社協ならではの介護サービスを提供します

経営の安定を図る	・通所介護事業の利用者数を拡大します。
働きやすい環境を整備する	・係長の業務負担を軽減します。

【障がい福祉課】 豊かな社会生活を送るための支援を行います

職員とチームの支援力の向上	・社会生活の中でも多くのウエイトを占める通所施設の内容を充実させるため、職員とチームの支援力を向上させます。
---------------	--

【総務課】 「人財」を育てる土台をつくります

人事評価制度の定着	・現在、試行として実施している人事評価制度の検証を行いながら、本施行に向けて準備を進めます。
慢性的な人材不足への対応	・女性、障がい者、高齢者等、多様な働き手が、意欲・能力を十分に発揮できる働きやすい職場づくりを推進します。

IV 各課の事業計画

地域福祉課



【堀金ふれあい祭り】(R4年度)

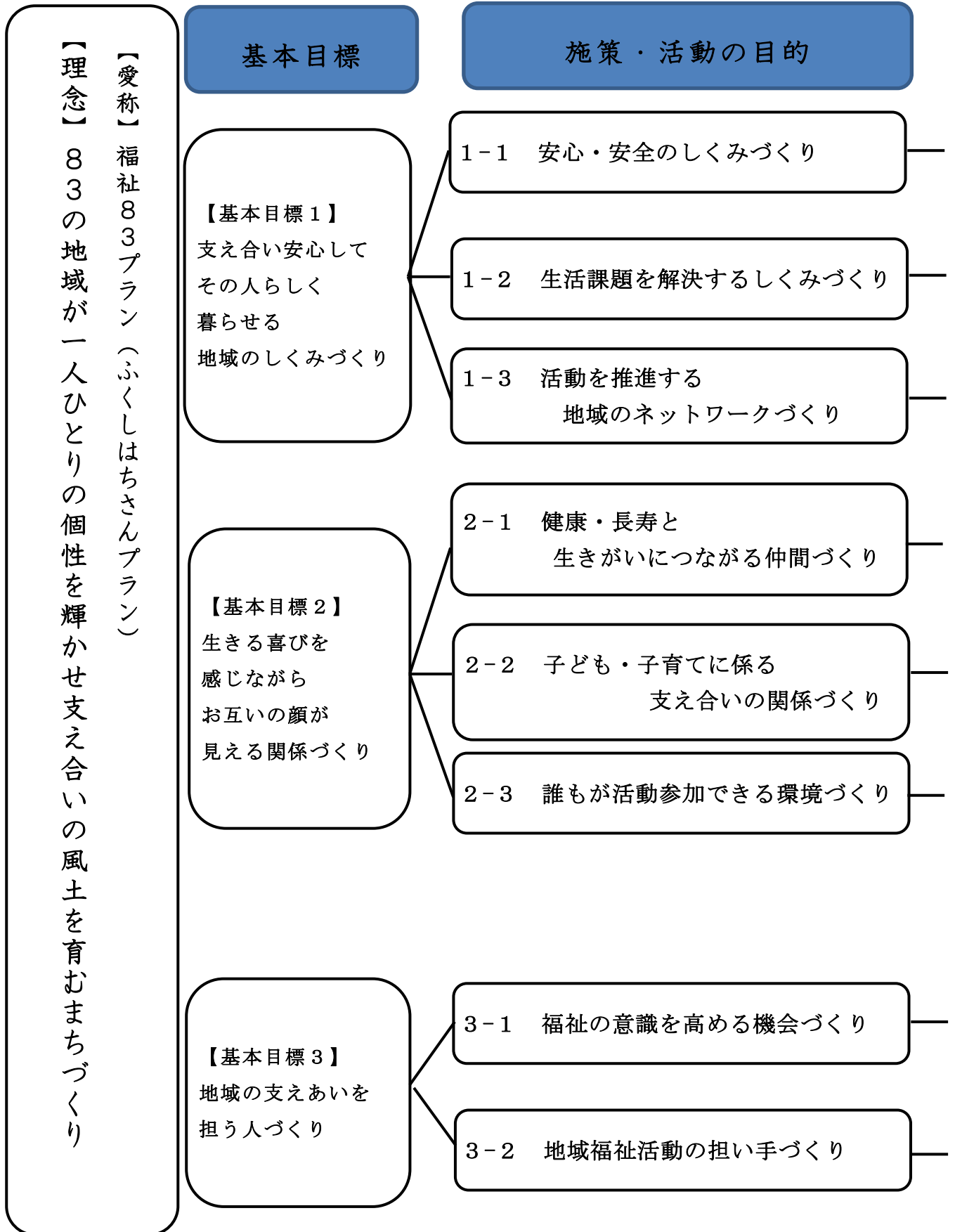
3年ぶりの開催となった堀金老人福祉センターでのお祭りには、「待ってました」とばかりに1,000人を超える来場者があり、あちこちのブースで大行列ができました。

【児童館 9館対抗アズミンピック 2022】(R4年度)

コロナ禍における2回目の9館対抗リモート企画。他館に負けまいと、けん玉に挑む子ども達。審判の職員も超真剣。



第3期安曇野市地域福祉計画・地域福祉活動計画の体系



施策・活動の取り組み内容

1-1-1 83区の支援体制の充実

- ・地域コミュニティによる支援システムの構築
- ・民生児童委員・児童委員への支援強化
- ・犯罪・事故・消費者被害等の予防活動の推進

1-1-2 防災・災害時の支え合い強化

- ・防災・減災につながる支え合いの推進
- ・避難行動要支援者への支援強化

1-2-1 包括的な相談支援体制の構築

- ・総合相談支援体制の充実
- ・生活困窮者への支援強化
- ・制度の狭間を支える体制及び社会資源の整備

1-2-2 予防を目的とした福祉の推進

- ・わかりやすい情報の発信
- ・見守り・声かけ・つなぐの定着促進
- ・生活課題の把握と対策の推進

1-3-1 地域福祉活動への参加促進

- ・地域福祉の普及活動の推進
- ・社会資源と福祉ニーズの把握と結び付け
- ・関係機関における情報共有・機能的連携の促進

1-3-2 地域協働のまちづくり

- ・民間団体等との連携および体制の基盤づくり
- ・専門性を活かした福祉活動の支援

2-1-1 健康・生きがいづくりの推進

- ・健康に対する意識の向上
- ・自発的に取り組む健康づくり
- ・生涯学習による自己実現の推進

2-1-2 活動拠点の拡充

- ・「いつでも、どこでも、だれでも」集える場の充実
- ・当事者同士が支え合える場づくり

2-2-1 子育てしやすい環境整備

- ・子育てに対する相談支援の強化
- ・地域で子どもを育てる風土の醸成

2-2-2 次代を担う豊かな人づくり

- ・地域への愛着を育む取り組みの推進
- ・子どもと家族を支えるしくみづくり

2-3-1 社会参加の機会と環境づくり

- ・地域社会からの孤立の防止
- ・地域共生社会の実現に向けた体制整備

2-3-2 つながりあう地域づくり

- ・多様な活動と参加の場づくり
- ・地域文化の振興と福祉の融合

3-1-1 福祉学習の推進

- ・共に生きる力を育む機会の提供
- ・地域の一員としての役割の啓発

3-1-2 人権と共生の意識向上

- ・自立と尊厳の保持
- ・多文化共生のまちづくり

3-2-1 地域福祉の担い手育成

- ・誰もが担い手となれる支援の展開
- ・支え合い活動へのつなぎ

3-2-2 担い手を支えるしくみづくり

- ・必要な時に専門的な支援を利用できる体制づくり
- ・活動を互いに支え合える場づくり

地域福祉課	「しくみづくり」の事業
事業名	支部・地区社協活動の支援／社協福祉員の普及
会計処理区分	社会福祉事業／地域福祉事業／支えあい事業

目的と概要 支部・地区社協は、身近な生活圏域における住民主体の支え合い活動を推進する住民による組織です。地区社協(84 地区)は「顔の見える関係づくり」、「居場所づくり」、「お互いさまの支え合い活動」等を地域(地区)の文化や実状に合わせて展開します。また「社協福祉員」は、「向こう三軒両隣」の自然な関係の中で、さりげなく「見守り」、日頃からの「声かけ」、そして何か気になること、困りごとがあった時の相談窓口への「つなぎ役」としての役割を隣組長さんをお願いしています。

R5 年度	(主なものを1つ)
目標と手段	次期活動計画策定並びに、『課題整理シート』の解決に向けた取り組みを協議します。 地区説明会の折に、福祉員の「役割」について啓発をします。
指標と数値	支部運営会議の開催：年6回 / 広報誌特集記事掲載：年3回 地区説明会における福祉員の啓発：40 回/5 地域
結果と評価	
今後の方針	



◀ 『明科地域災害時住民支え合いマップ研修会』(R4.7 月)

明科 14 地区を、午前(7 地区 23 名)と午後(7 地区 21 名)の2班に分けて開催しました。

地域福祉課	「しくみづくり」の事業
事業名	防災・災害時の支え合い強化事業
会計処理区分	社会福祉事業/地域福祉事業/共同募金事業

目的と概要

地震や台風等による災害が実際に発生した時、地域のつながりやボランティア活動が、とても大きな力になることを過去の災害から学びました。わたしたちには、防災や災害時の支え合いについての「関心」を持ち続け、十分に「備え」、いざという時にきちんと「行動できる」ことが求められます。当事業の目的は、このようなニーズに対応するため、安曇野市又は近隣市町村が被災した時に、わたしたちは具体的に何ができるのか、また何をすべきなのかを整理して、いざという時に備えることです。

R5 年度	(主なものを1つ)
目標と手段	災害時に備え平時からの住民同士の支え合いや社協と住民及び近隣社協・市との連携強化を図るため、研修会や訓練を実施します。
指標と数値	災害ボランティアリーダー養成講座・スキルアップ講座の開催：年1回3回シリーズ 災害ボランティアセンター設置・運営訓練の実施：年1回(対象：社協職員・住民)
結果と評価	
今後の方針	



◀ 『災害ボランティアセンター設置・運営訓練』 (R4.6月)

長野県社協との共催により実施し、安曇野市社協職員・地域住民(災害ボランティアリーダー)・近隣社協職員が参加しました。

「安曇野市災害ボランティアセンター設置・運営マニュアル」に沿って訓練を行いました。

地域福祉課	「しくみづくり」の事業
事業名	生活困窮者自立支援事業
会計処理区分	社会福祉事業/地域福祉事業/受託事業

目的と概要 生活困窮者自立支援法に基づき、生活困窮者（現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある者）の経済的な自立促進を図ることがこの事業の目的です。主として相談対応、自立支援計画の作成及び関係機関との連絡調整を行います。平成 27 年度に安曇野市から受託し、自立相談支援事業を進めています。

R5 年度	(主なものを 1 つ)
目標と手段	日々の面談の中で家計を把握することの大切さや世帯員全員で取り組むべき課題であることを伝え、その必要性を示していきます。
指標と数値	「家計改善支援事業」との連携 20 件。 「家計改善プラン」との共同作成 10 件。
結果と評価	
今後の方針	

生活困窮者自立支援事業の利用者数（人）					
項目	H30	R1	R2	R3	R4 見込み
利用実人数	306	268	808	1,168	1,035
内・新規利用者	122	125	540	280	145
緊急小口資金	13	12	3	6	10
食糧支援	32	37	89	68	100
就労支援	17	29	14	21	20
個別プラン作成	16	21	8	40	30
住居確保給付金	1	9	35	33	15

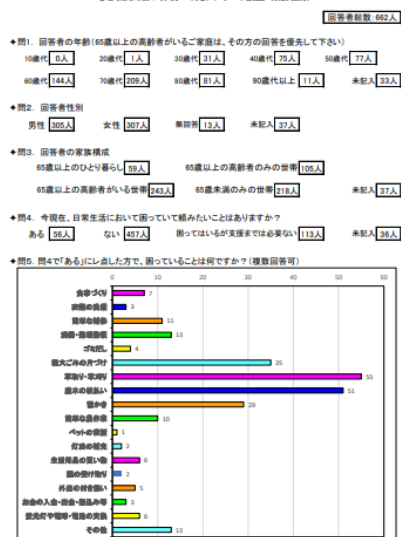
地域福祉課	「しくみづくり」の事業
事業名	生活支援体制整備事業
会計処理区分	社会福祉事業/地域福祉事業/受託事業

目的と概要

生活支援体制整備事業では、日常生活上の支援が必要になっても住み慣れた地域で安心して、生きがいをもって暮らすことのできる地域づくりを目指し、「住民が主体」となった支え合い活動の取り組みを推進していきます。また、多様な主体による生活支援・介護予防サービスの提供体制を構築するため、分野の枠を超え、あらゆる地域資源と連携を図ります。さらに第2層協議体の運営をとおして生活支援ニーズ及び地域資源の把握を行い地域の高齢者等が抱える課題解決に向けて取り組みを進めます。

R5 年度	(主なものを1つ)
目標と手段	小地域での支え合い体制の構築として、既存のサービスやしきみの充実化を図り、住民の参画を促していきます。
指標と数値	しあわせ・あづみんなどの既存のしくみについての説明会を実施し、利用・支援会員増に努めます。ケアマネ等への説明会/1回 地区等住民への説明会/5回
結果と評価	
今後の方針	

【地域支え合い体制づくりアンケート調査 集計結果】



◀堀金地域協議体による『地域支え合い体制づくりアンケート』。

9地区中6地区が住民アンケートを実施しました。

穂高地域では、白金区の『区民支え合い制度』から影響を受け、『立足区支え合い制度』が立ち上がりました。

各地域において支え合いの仕組みが動き出しています。

域福祉課	「しくみづくり」の事業
事業名	ボランティアセンター事業
会計処理区分	社会福祉事業/地域福祉事業/共同募金事業

目的と概要 地域福祉活動を推進していくためには、地域住民だけでなく、関係団体や関連事業者はもとより、あらゆる民間組織との協同を視野に入れて展開していくことが求められます。各々の得意分野や専門性を活かした支え合いの活動を包括的かつ継続的に支援するためのネットワークの拠点として、ボランティアセンターの機能の充実を図ります。また、災害時・復興時の助け合いの拠点としての機能充実と関係機関との連携強化を図ります。

R5 年度	(主なものを1つ)
目標と手段	ボランティアセンターの広報の強化及び市民活動サポートセンターとの連携により、既存のボランティア活動の活性化を図ります。
指標と数値	市民活動サポートセンターの職員との定期的な情報交換:年4回 連携事業:年1回 ボランティアセンターのホームページの充実・SNSの活用について検討・実施
結果と評価	
今後の方針	



◀ 認知症サポーター養成講座

コロナ禍でここ数年実施できなかった認知症サポーター養成講座を9月に住民向けに実施しました。

また、11月に豊科北中学校でも実施しました。

地域福祉課	「関係づくり」の事業
事業名	朗人大学の運営事業
会計処理区分	社会福祉事業/地域福祉事業/受託事業

目的と概要 60歳以上の方を対象とした朗人大学の主な目的は、「学生」たちが新たな知識を習得しながら健康づくり、生きがいづくり、及び仲間づくりを行うこと。そして、年輩者の優れた能力や経験を広く地域づくりに役立てていただくことです。講座は健康、生活、文化、地域福祉、趣味等の教養講座及び実践講座があり、月に1日ずつ(年間12日)開催します。また「ボランティア実践講座」だけでなく、学生による地域活動の更なる推進に向け、社協事業との連携も図っていきます。

R5年度	(主なものを1つ)
目標と手段	学生同士の交流の機会を増やすとともに、「学んだ経験を地域社会に役立てる」活動・自発的なグループ化を進めます。
指標と数値	学生へのアンケートを実施し、『朗人大学卒業後、「地域の支え合い活動」に参加したいと思いますか?』の“思う”への回答率:50%以上
結果と評価	
今後の方針	



◀ 『フレイル予防』と題しての実践講座
(R4.9月)

先生の実技指導により、身体の上から下まで、普段動かす事の少ない各部位の運動を行い、その方法を覚えていただきました。

地域福祉課	「関係づくり」／「人づくり」の事業
事業名	ふれあい・いきいきサロン／地域福祉を担う人材育成
会計処理区分	社会福祉事業／地域福祉事業／共同募金事業

目的と概要 「ふれあい・いきいきサロン」には、住民同士のふれあい・支え合いの場だけでなく、介護予防、生きがいづくり、生活課題への気づきの場としての機能が期待されています。「支え合い安心してその人らしく暮らせるしくみづくり」の一環としてサロンを推進し、住民の自発的・自律的な活動として発展していけるように支援します。また、サロン活動のような地域活動の担い手として、誰もが自身の役割を感じることができるような支援を行っていきます。

R5 年度	(主なものを1つ)
目標と手段	コロナ禍により停滞してしまっている居場所の再開に向け、そもそもなぜサロン（居場所）が必要なのか、どんな役割があるのかを理解してもらう機会を創出します。
指標と数値	地域の世話やきさん講座／年2回（複数回シリーズ講座）
結果と評価	
今後の方針	



◀ 地域の世話やきさん講座 『地域の居場所“サロン”について』

“サロン”の様々な開催方法や、コロナ禍でも実践している事例を紹介しました。

地域福祉課	「人づくり」の事業
事業名	福祉学習推進事業
会計処理区分	社会福祉事業/地域福祉事業/共同募金事業

目的と概要

学校と地域が連携し、子どもたちの「福祉のこころ」を育むために体験や学習を支援し、世代間の交流を通して大人と子どもが共に学びあう福祉学習を推進します。また、関係機関と連携し安曇野市コミュニティスクール事業の推進を図ります。

子どもだけでなく、サロン活動や地域学習会等を利用して地域の福祉力の強化に努めます。「教える-教わる」関係ではなく、地域住民一人ひとりが自ら気づき、自ら行動していくことを、支援していきます。

R5 年度	(主なものを1つ)
目標と手段	地域と学校との連携及び住民参加による福祉教育の推進を図るために、学校で地域の方と子どもたちが一緒に学ぶ機会を創ります。
指標と数値	・朗人大学分校(仮)事業の実施:8/17校 ・地域の方が講師となる福祉学習の実施:3回
結果と評価	
今後の方針	



◀ 朗人大学分校【明北小学校】(R4.10月)

地域住民が学校へ赴ききっかけづくりとして朗人大学分校を市内小・中5校で実施しました。明北小学校では地域の方と2年生と一緒に「地域の名所・旧跡探し」として街歩きをしました。

地域福祉課	「人づくり」の事業
事業名	社会福祉大会の開催
会計処理区分	社会福祉事業/地域福祉事業/支えあい事業

目的と概要 学校・地域における福祉活動の実践発表及び福祉にまつわる講演会等を通して、住民自らが地域の中にある「生活課題」を意識し、地域における「支え合い」の大切さに気づき、活動参加への意欲ときっかけづくりとなることを目指します。大勢の住民が福祉をテーマに集う場であり、世代を超えた福祉学習、福祉に関する情報発信、様々な人の社会参加と交流の場でもあります。

R5 年度	(主なものを1つ)
目標と手段	長引くコロナ禍により地域でのふれあい活動やボランティア活動等が停滞しがちな今だからこそ、本大会を通じて地域活動の再興を支援します。
指標と数値	地域住民活動、学校における福祉活動等の事例発表：3 事例以上 一般来場者数：座席数の半数以上
結果と評価	
今後の方針	



令和4年度第16回社会福祉大会では、3年ぶりに「福祉活動実践発表」を実施。地域における2つの取組と、音楽ボランティアの演奏が発表されました。

住民参加型有償在宅福祉サービス事業(しあわせ・あづみん)の実績及び主な支援内容

項目	R1	R2	R3	R4 見込み	R5 目標
支援会員数(人)	55	66	68	73	80
延べ支援回数(回)	61	74	190	250	260
支援内容①	ゴミ出し 44	ゴミ出し 52	ゴミ出し 139	ゴミ出し 190	ゴミ出し 200
支援内容②	庭草取り 8	買い物 7	庭草取り 18	庭草取り 31	庭草取り 35
支援内容③	清掃整理 4	庭草取り 5	買い物 11	買い物 10	買い物 15

新規支援会員への説明会を継続して開催します。また支援会員定着のための交流会の開催を検討します。

地域包括支援センターの実績及び次年度目標(件)

	センター名	R1	R2	R3	R4 見込み	R5 目標
相談件数	南部包括	3,485	3,607	4,559	3,800	3,900
	北部包括	5,653	5,832	5,797	6,000	6,050

地域包括支援センター運営に係る重点施策の中で、「認知症施策の推進」が挙げられています。センターに配置された「認知症地域支援推進員」を中心に、啓発活動や見守りネットワークの充実に努めていきます。

日常生活自立支援事業の利用者数(人)

項目	H30	R1	R2	R3	R4 見込み
利用実人数(人)	52	54	57	56	61
内・新規契約者	18	8	8	10	12
契約待機	2	8	7	4	3
認知症高齢者	22	18	19	19	21
精神障がい者	13	16	19	18	18
知的障がい者	17	20	19	19	22

契約者数は依然として高い数字で推移しています。さらに成年後見制度の利用促進も視野に入れ、ご利用者様の判断能力に応じて、適時・適切に当該制度へ移行していきます。

地域公共交通ネットワーク事業(デマンド交通あづみん)利用者数(人、%)

項目	R1	R2	R3	R4 見込み	R5 目標
利用人数(人)	86,681	75,970	78,975	79,892	81,889
内・100円利用者(%)	49.2	53.7	55.3	56.1	56.9

4年11月に導入された新システムでは、アプリを使ったスマホからの予約・キャッシュレス決済・発着時刻の提示など様々な便利な機能が追加されましたが、その定着にはしばらく時間がかかりそうです。

生活福祉資金貸付事業の貸付及びその内訳（件）					
項目	H30	R1	R2	R3	R4 見込み
貸付中件数(通常貸付)	175	188	189	158	183
内 新規貸付件数	26	24	19	14	25
総合支援資金	3	1	5	2	3
緊急小口資金	13	12	4	6	10
教育支援資金	4	7	7	3	8
その他資金	6	4	3	3	4
貸付中件数(特例貸付)	--	2	1102	774	145
内 総合支援資金	--	0	759	525	70
内 緊急小口資金	--	2	343	249	75

新型コロナウイルス感染症による失業・休業者の多い状況は続きます。包括的な支援体制を検討します。

心配ごと相談事業における相談件数（件）及び主な相談内容（多い順）					
項目	H30	R1	R2	R3	R4 見込み
相談件数	76	67	45	49	15
相談内容①	家族・親族 子育て関係	家族・親族 子育て関係	家族・親族 子育て関係	家族・親族 子育て関係	近隣住民
相談内容②	遺産相続	高齢者の暮らし・サービス	結婚離婚問題	土地建物関係	遺産相続
相談内容③	近隣住民	生計困難・ 多重債務	遺産相続 財産分与	結婚離婚関係	家族・親族 子育て関係
無料法律相談	7	12	12	8	3

委託料減額により相談回数を減じての運営となりますが、相談の質を落とすことなく相談者に寄り添います。

ふれあいバスの旅の参加者実績及び主な目的地					
項目	H30	R1	R2	R3	R4
行先	静岡県	新潟県	中止	中止	オンライン
参加者数(人)	371	402	/	/	
高齢者	99	113			
障がいのある方	138	137			
ボランティア・その他	134	152			

新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら、実施形態の変更も視野に開催に向けて積極的に検討します。

地域福祉課重点テーマに向けた各支所における重点3事業【豊科支所】

地域福祉課重点テーマ

【互いに支え合う地域づくりに向けて ～今必要なことは何か～】

重点事業1. 支部・地区社協事業推進支援事業		会計区分: 社会福祉事業/地域福祉事業/支えあい事業
目標	多様化する課題に対し、市民が主体的に地域福祉を推進し、また相互連携による解決を図ります。 【指標】各区学習会・説明会の開催及び啓発 【目標数値】23区の学習会・説明会	
具体的な手法	各区の「地域福祉・地域共生社会」の学習機会の場をつくり、各区主体による課題解決に向けた仕組みづくりを支援します。また、「地区社協運営マニュアル」に基づき、他団体との連携のもと各地区社協の課題解決に向けた円滑な事業推進を支援します。ウイズコロナを前提にした事業推進を図るため、地区社協会長と「課題と目標」を共有し、支え合う地域社会の構築を目指します。	
重点テーマへの効果	一人ひとりの意識の高揚により主体的な活動を促進するとともに、コロナが一層拍車をかけ山積する課題の解決に向け、市民相互に連携、協働することで支え合う地域共生社会の実現が図れます。	

重点事業2. ボランティアセンター事業		会計区分: 社会福祉事業/地域福祉事業/共同募金事業
目標	大きく変化する社会情勢下、一層その役割を担う地域に根差したボランティアの推進を図ります。 【指標】ボランティア講座の促進及び地域ボランティアの立上げ支援 【目標数値】7回、随時	
具体的な手法	少子高齢、人口減少など社会情勢の大きな変化により、地域課題も複雑化しており、これらを解決していく上で、区や地区社協単体では困難な状況であることからボランティアをはじめとする公益活動団体との連携・協働は欠かせなくなっています。このことから、ボランティア連絡協議会豊科支部との連携によりボランティアの裾野を拓げるための講座の開催、また支え合う仕組みのためボランティア組織の立上げを推進します。	
重点テーマへの効果	コロナ禍の中でも市民一人ひとりが「できることをやる」機会を創出あるいは提供することにより、ボランティア意識が高まり活動への発展し、もっては地域の課題の解決やお互いに支え合う社会づくりに寄与します。	

重点事業3. 豊科老人福祉センター事業		会計区分: 社会福祉事業/地域福祉事業/支えあい事業
目標	2025年問題、2040年問題に向けて老人福祉センターのあり方を見つめ直し、機能を拡充します。 【指標】講座 【目標数値】7回	
具体的な手法	高齢化が一層進展していることから、老人福祉センターのあるべき姿を改めて考え、センターが高齢者などの拠り所であり、健康づくりや生きがいづくりの場となるよう一層努めます。そのため、学びや交流の場としての講座などを開催するとともに、またセンターの利用を促進するため情報の提供の充実、貸館やお風呂など利用する皆さんにとって使いやすい施設となるよう懇談会を開催し、そのニーズの把握に努めます。	
重点テーマへの効果	老人福祉センターが高齢者にとっての居場所となり、高齢者が学びと交流から一人ひとりの意識が高揚し、もっては地域づくりの主役として主体的に地域に関わることとなります。	

中間評価 (進捗)	
年間の総括 (振り返り)	

地域福祉課重点テーマに向けた各支所における重点3事業【穂高支所】

地域福祉課重点テーマ

【互いに支え合う地域づくりに向けて ～今必要なことは何か～】

重点事業1. ふれあいのまち事業		会計区分: 社会福祉事業/地域福祉事業/支えあい事業
目標	小地域における住民主体の「支え合いのしくみづくり」を推進します。 【指標】「住民主体の支え合い」に係る学習会、交流会及び検討会等の実施 【目標数値】20回	
具体的な手法	1 身近な取り組みの実際を紹介、情報交換及び検討する場を設け、課題解決と動機付けに役立てます。 2 職員が小地域に出向し、学習会等を通して住民主体の支え合い活動の普及に努めます。 3 生活支援体制整備事業協議体等と連携し、住民主体の社会資源づくり及び活動継続を支援します。	
重点テーマへの効果	テーマ① 場づくり: 実例を材料にしたワーキングの場をつくり、自分の地域での活動の場づくりにつなげます。 テーマ② 活動継続支援: 協議体等との連携により、活動の継続のみならず新たな資源づくりを推進します。 テーマ③ 意識づくり: 身近な取り組みを共有することで、しくみづくり又は活動参加への動機付けを高めます	

重点事業2. ボランティアセンター管理運営事業		会計区分: 社会福祉事業/地域福祉事業/共同募金事業
目標	地域におけるボランティア活動及び福祉学習を拡充します。 【指標】①相談件数、②サロン訪問回数、③福祉学習実施数 【目標数値】①150件、②8回、③8学年	
具体的な手法	1 福祉センターの掲示板活用及びPRの場をつくり、住民向けボランティア情報をリアルタイムに発信します。 2 サロン等、実際のボランティア活動の場に出向き、ニーズ把握及び活動の支援・調整を行います。 3 学校と直接的・積極的にコミュニケーションをとり、福祉学習及び地域連携を推進します。	
重点テーマへの効果	テーマ① 場づくり: 住民が自分の「出来ること」「得意なこと」を通して活動に参加できる場につなげます。 テーマ② 活動継続支援: 活動場面への訪問や直接的なコミュニケーションにより、的確な支援に努めます。 テーマ③ 意識づくり: 住民には地域で学校を支える意識を高め、児童・生徒には共に生きる力を育みます。	

重点事業3. 福祉センター管理運営事業		会計区分: 社会福祉事業/地域福祉事業/受託事業
目標	利用者の利便性を向上させ、地域福祉の活動拠点としての機能を高めます。 【指標】①利用者の満足度、②改修計画案策定時期 【目標数値】①90%以上、②上半期中	
具体的な手法	1 貸館対象者に質問紙法による利用者満足度調査を実施します(11月)。 2 利用者満足度調査で把握した要望等にはできる限り迅速に対応・改善します。 3 令和6年度予定の大改修に向けた改修計画(素案)を市との協議資料として作成します。	
重点テーマへの効果	テーマ① 場づくり: センターの利便性向上により地域福祉推進の場(拠点)としての機能を拡充します。 テーマ② 活動継続支援: 拠点機能として持続・発展できるよう安心・安全の施設づくりに努めます。 テーマ③ 意識づくり: センター機能の効用を発揮させ、地域福祉に係る住民の意識高揚を図ります。	

中間評価 (進捗)	
年間の総括 (振り返り)	

地域福祉課重点テーマに向けた各支所における重点3事業【三郷支所】

地域福祉課重点テーマ

【互いに支え合う地域づくりに向けて ～今必要なことは何か～】

重点事業1. 地区支部社協機能強化事業		会計区分: 社会福祉事業/地域福祉事業/支えあい事業
目標	各地区における住民主体の防災・災害時の支え合いを強化します。 【指標】 災害時住民支え合いマップの更新 【目標数値】 10 地区	
具体的な手法	令和4年度に作成した「災害時住民支え合いマップ作成マニュアル」を活用し、各地区単位での説明会を実施します。説明会の開催にあたっては各地区社協会長を窓口として各区へアプローチし、各区の実状にあわせて「災害時住民支え合いマップ」の更新を支援します。	
重点テーマへの効果	コロナ禍により停滞している「災害時住民支え合いマップ」の更新について、マニュアルを活用して各地区の実状にあわせた個別の支援をすることによって更新が進むことが期待できます。更新が進むことにより、防災・災害時の支え合いが強化され、住民主体の地域づくり活動が再興される効果が期待できます。	

重点事業2. 高齢者安心訪問事業		会計区分: 社会福祉事業/地域福祉事業/共同募金事業
目標	粗品配布をきっかけに、福祉員の見守りや支えあい活動の活性化を推進します。 【指標】 返信はがき数 【目標数値】 150 通	
具体的な手法	三郷地域にお住まいの70歳以上の一人暮らしの方を対象とし、福祉員が粗品を配布します。粗品には三郷児童館の利用児童からのお手紙と返信用のはがきを同封し、つながりづくりを推進します。顔つなぎを行うとともに、福祉員(隣組長)の皆さまに活動の意識を持ってもらえるよう実施します。	
重点テーマへの効果	福祉員として、自分のできることで参加・活躍するきっかけとなり、支えあい活動の推進につながります。1年で交代することが多い福祉員(隣組長)に毎年依頼して実施することで、福祉員活動の継続支援及び社協事業の周知が期待できます。	

重点事業3. 三郷福祉教室事業		会計区分: 社会福祉事業/地域福祉事業/共同募金事業
目標	福祉をテーマにした講座を開催し、仲間づくりや住民の福祉についての理解を深める。 【指標】 講座開催回数 【目標数値】 年8回	
具体的な手法	住民の皆さまが福祉について考えるきっかけとなる講座を年8回実施します。講座内容は時事や流行を取り入れながら住民の興味関心を惹く内容を企画します。また、参加者同士の仲間づくりのきっかけとなるよう働きかけます。たくさんの方に興味を持ってもらえるよう、広く住民への周知を行います。	
重点テーマへの効果	広く住民に向けて講座を開くことで、普段福祉に関わりのない人や興味のない人に対して、自分のできることを考えるきっかけとなります。また、講座に参加することで社協への関心・地域づくり参加への意欲の高揚が期待できます。	

中間評価 (進捗)	
年間の総括 (振り返り)	

地域福祉課重点テーマに向けた各支所における重点3事業【堀金支所】

地域福祉課重点テーマ

【互いに支え合う地域づくりに向けて ～今必要なことは何か～】

重点事業1. 地域住民による支え合い事業		会計区分: 社会福祉事業/地域福祉事業/支えあい事業
目標	地域福祉に寄せる住民意識の醸成と共に、住民主体による支え合いの地域づくりを支援します。 【指標】地区説明会の開催/広報活動 【目標数値】説明会9地区/支所だより4回発行	
具体的な手法	「生活支援体制整備事業」、「社協福祉員」、「しあわせ・あづみん」を融合した説明会(隣組単位でも地区に出向く)を開催します。特に「しあわせ・あづみん」を日常生活における助け合いのツールとして広く普及を図るため、地区社協との協働による広報活動を展開します。	
重点テーマへの効果	堀金地域協議体におけるアンケート調査を一つの成果とし、多くの区民に「生活支援体制整備事業」の理解が広がると共に、互いに支え合う地域づくりへの意識の醸成に繋がります。また、従来からの隣近所を核とするコミュニティの再確認から持続可能な暮らしやすい生活環境が保たれます。	

重点事業2. ボランティア推進事業		会計区分: 社会福祉事業/地域福祉事業/共同募金事業
目標	ボランティアへの動機付け(「動因」と「誘因」)となる話題を提供し、参加に繋がめます。 【指標】市民との橋渡し/小・中学校での活動 【目標数値】マッチング率 100%/活動件数5件	
具体的な手法	ボランティア団体をはじめ、住民の集いの場としてボランティアセンターを広く開放します。また、堀金小・中学校を基軸としたボランティア活動を発信します。さらに、ふれあい祭りへの中学生の参加、配食サービス及びおむすび会に関わるボランティア組織の活性化に取り組みます。	
重点テーマへの効果	変革する社会情勢の中で、ボランティアが果たす役割を自らの意識として受け止め、自らの行動として実践することができます。また、地域学校協働活動への入口になり得ると共に、共同募金を活用した事業であることを表現することにより、市民が持つ認識への正しい理解～協力へと繋がります。	

重点事業3. 老人福祉センター利用促進事業		会計区分: 社会福祉事業/地域福祉事業/支えあい事業
目標	堀金憩いの里“うらら”に行きたい! 利用者からの声を満足度に変えて還元します。 【指標】老人福祉センター利用者満足度(アンケート調査) 【目標数値】満足度指数 70%以上	
具体的な手法	子育て世代への応援や高齢者の生きがい活動を意図した取り組みをソフト事業の中心に据えると共に、健康教室などの新規事業を後押しします。また、計画的な施設整備や季節風呂の趣向等により、居住空間としての維持向上に努めながら、通年に及ぶ利用者満足度調査を実施します。	
重点テーマへの効果	住民福祉の総合窓口であり、地域共生社会実現に必要な施設として少子高齢社会を持続的に下支えすることができます。また、健康推進事業や子育て支援の拠点としての特性を併せ持つことにより、地域福祉計画・地域福祉活動計画の発信基地として効用を高めることができます。	

中間評価 (進捗)	
年間の総括 (振り返り)	

地域福祉課重点テーマに向けた各支所における重点3事業【明科支所】

地域福祉課重点テーマ

【互いに支え合う地域づくりに向けて ～今必要なことは何か～】

重点事業1. 地区社協活動の推進事業		会計区分: 社会福祉事業/地域福祉事業/支えあい事業
目標	小地域における住民同士の支え合い活動を推進します。 【指標】 地区説明会の開催 【目標数値】 14 地区	
具体的な手法	地区の会議に向き福祉員の説明会を行います。支え合いのしくみづくりについて説明会を行うことで、住民が自らのできる範囲において地域に関わっていくことの重要性を伝えていきます。	
重点テーマへの効果	各地区での説明会を通して福祉員をはじめ社協の事業についても広報周知を行うことで、地域の支え合い活動について理解を広めることができます。主体的に地域に参加していく意識づくりの機会となります。	

重点事業2. ボランティアセンター管理運営事業		会計区分: 社会福祉事業/地域福祉事業/共同募金事業
目標	長引くコロナ禍においても地域福祉を促進させるため、ボランティア活動や地域活動を継続的に支援します。 【指標】 講座、情報交換会、サロン活動支援 【目標数値】 3 回/3 回/8 回	
具体的な手法	ふれあい料理教室や情報交換会を開催し、地域住民が自分のできることで参加できる機会を作ります。地区のサロン活動の支援を通して、地域のニーズを把握し、地域づくりの再興を支援します。	
重点テーマへの効果	活躍・参加できる機会を増やしていくことで、これまで停滞していた住民主体の地域づくり活動へ意識を高めることができます。	

重点事業3. 福祉センター管理運営事業		会計区分: 社会福祉事業/地域福祉事業/受託事業
目標	地域の相談窓口として住民が集い利用しやすいセンターづくりを行います。 【指標】 相談窓口・掲示スペースの整備 【目標数値】 通年	
具体的な手法	地域住民が立ち寄りやすいように相談窓口を整備し、資料等もわかりやすく設置します。情報収集・発信の場として掲示スペースを設け、センターを訪れる住民の地域への参加をサポートします。	
重点テーマへの効果	拠点となる福祉センターの環境を整えより活用しやすい場を作ることで、社協事業への関心を高め、コロナ禍で停滞した地域活動の再興と継続につながります。	

中間評価 (進捗)	
年間の総括 (振り返り)	

地域福祉課	「関係づくり」の事業
事業名	児童館管理運営事業
経理区分	社会福祉事業/児童館事業/児童館管理運営事業

目的と概要

児童館では、①保護者の子育てに関する悩みや相談に応じる「子育て相談事業」、②未就園児親子を対象とした「子育て支援事業」、③地域の方々との交流等を深める「地域ふれあい事業」、④小学生以上を対象に、遊びを通して自主性、社会性及び豊かな情緒を育むことを目的とした「青少年育成事業」、そして⑤放課後に児童を預かり、保護者の子育てと就労等との両立を支援する「放課後児童クラブ事業」等の事業を行っており、市内 9 館全てを当会が安曇野市から受託して運営しています。児童館がより多くの方に気軽に利用していただけるよう、各館地域の方々との繋がりが、特色を生かした事業に取り組みます。

放課後児童クラブ事業においては、支援や配慮を必要とする児童の利用も増えており、実施場所や職員体制など、安全な運営に向けた環境整備が継続的な課題です。

令和 5 年度から新たに 5 年間の指定管理期間が始まります。児童クラブでは市による 6 年生までの受入れ拡充に伴い、年度途中で小学校内で複数カ所の児童クラブ開設が予定されています。

児童館の来館者延人数（人）の推移

児童館来館者延べ人数				放課後児童クラブ延べ人数			
児童館名	R3	R4 見込	R5 目標	児童クラブ名	R3	R4 見込	R5 予測
豊科中央	11,110	11,500	12,000	豊科南小	14,760	17,000	18,700
高家	10,869	9,000	9,500	豊科東小	4,992	5,000	5,000
南穂高	7,502	5,500	5,800	豊科南穂高	14,753	14,500	16,000
穂高中央	9,504	8,000	8,500	穂高南小	8,684	9,500	10,500
穂高西部	5,926	6,500	7,000	穂高西小	11,181	11,500	12,500
穂高北部	5,557	5,500	5,800	穂高北小	12,560	15,500	15,500
三郷	8,454	6,500	7,000	三郷	26,504	28,500	31,500
堀金	10,982	9,000	9,500	堀金	12,360	12,500	12,500
明科	5,491	3,500	3,700	明科	7,588	6,000	6,600
合計	75,395	65,000	68,800	合計	113,382	120,000	128,800

地域福祉課	「関係づくり」の事業
事業名	ファミリー・サポート・センター事業
会計処理区分	社会福祉事業/地域福祉事業/受託事業

目的と概要

社協の「ファミリー・サポート・センター」が事務局となり、依頼会員（子育てに手助けを必要としている会員）と協力会員（手助けをする会員）とをつなぎ、子育ての「支えあい活動」を推進します。預かる対象年齢は0歳から小学6年生までで、保育園・小学校等の送迎や親の外出時の託児を行う「通常サポート」、親の急病時や残業時など急な依頼に対応する「当日サポート」、病気のお子さんを預かる「病児・病後児サポート」があります。料金は通常1時間600円（日・祝日は700円）です。また、センター横に常設しているお子さん用品のリユースコーナーは多くの方に利用して頂いているとともに、ファミリー・サポート・センター事業を周知する機会へとつながっています。

5年度は3名のアドバイザーのうち1名を総合職とし、協力会員増を目指して参加しやすい協力会員養成講習会を開催する他、より円滑な相互援助活動に向けサポート料金の改定を検討する等、事業の体制強化を図ります。

R5年度	(主なものを1つ)
目標と手段	サポート体制の充実に向けた協力会員数の増を目指し、協力会員養成講習会を前年度同様年2回開催します。また、講習日程を短期集中型から分散型に移行し、より受講しやすく魅力的な講習となるように努めます。
指標と数値	・「協力会員養成講習」:年2回開催、新規協力会員登録20人(R1~R4年度平均15.25人)
結果と評価	
今後の方針	

ファミリー・サポート・センター事業における会員数及び支援件数

項目		H30	R1	R2	R3	R4見込	R5目標
会員数 (人)	協力会員	107	118	114	113	128	150
	依頼会員	760	866	904	986	1,072	1,080
	依頼協力会員	31	32	31	32	27	35
	合計	898	1,016	1,049	1,131	1,227	1,265
支援件数 (件)	通常・当日サポート	1,917	1,619	1,021	983	1,150	1,200
	病児・病後児サポート	12	25	16	28	11	20
	合計	1,929	1,644	1,037	1,011	1,161	1,220

各児童館の年間目標及び主要事業

豊科中央児童館：みんなの楽しいこと・知りたいこと…希望を叶え 地域とつながる児童館	
主要事業内容	<p>長い歴史を持つ当館では、地域のボランティアさんが活躍できる場の一つとして児童館行事への協力をお願いしていきます。当館恒例の「卓球の日」については伝統を守りつつ継続し、また、他の内容で地域のボランティアさんの特技や知識を活かして、かつ来館者との交流となるモノづくりなどを計画します。</p> <p>「移動児童館」は、児童館から遠い地域の子どもの居場所の一つとして、児童館が地域へ出向き遊びなどの提供ができるよう、地域と連携して実施します。</p> <p>【指標】 ①地域ふれあい事業 ②自由参加型移動児童館 【目標数値】 ①年 12回 ②1 地区</p>
中間評価	
結果・評価	

高家児童館：「たきベタウン」「おもちゃの診療所」の安定した継続とともに地域の方が参加できるような展開	
主要事業内容	<p>「たきベタウン」でのお買い物遊びの更なる定着を通して来館者数増を目指します。タウンの商品の入れ替えや新しいお店、乳幼児親子だけでなく祖父母や地域の方が懐かしくレトロな雰囲気味わえるようなブースを作り、年齢を問わず楽しめる館内にします。改名した「おもちゃの診療所」のニーズに対応するため、修理する方の増員を目指します。また、「子育て情報 Q&A」と題した相談箱を設置し、同じような悩みを持っていた先輩ママよりアドバイスを貰ったり、お母さん同士の繋がりを持てるようにしていきます。</p> <p>【指標】 ①たきベタウンの来館者数増 ②おもちゃ修理件数 【目標数値】 ①1日 40人 ②年間 50件</p>
中間評価	
結果・評価	

南穂高児童館：互いに支えあえる地域づくりの拠点の1つとなれるよう、みんなが笑顔になれる「にこにこランド」を目指す	
主要事業内容	<p>「ふれあい農園事業」で地域の高齢者クラブやボランティアの方々には野菜作りの指導をお願いすることにより、その方々にとってもやりがい・生きがいを感じ健康増進の機会となるよう努めます。また、乳幼児親子の参加者へは世代間交流だけでなく食育の機会となることも目指します。また、平日午前中の子育て支援事業「にこにこタイム」とその拡大版の「にこにこタイムスペシャル」を当館の特徴的な事業として継続して実施し、来館されたみんなが笑顔になれる「にこにこランド」を目指します。</p> <p>【指標】 ふれあい農園平均参加者数 【目標数値】 10組</p>
中間評価	
結果・評価	

穂高中央児童館： みんなが気軽に足を運べる児童館！好きなこと、知りたいことはなぁに??	
主要事業内容	<p>小学生の活字離れを防ぐには乳幼児期からの絵本の読み聞かせが大切と考え、人気事業である、「へんしん！手形足形アート」を活かし、絵本に興味を持っていただけるようにします。本を1回借りるごとにスタンプ1つが押され、5つ貯まると、通常以上に「手形足形アート」を楽しめる「特典」がつくというものです。このスタンプキャンペーンは、地域ふれあい事業「読み聞かせ」の参加者増にも繋がるものと期待でき、多くの保護者が絵本の楽しさを知り、家で沢山読み聞かせをするきっかけ作りとなるよう努めます。</p> <p>【指標】 ①絵本貸し出し組 ②読み聞かせ参加者数 【目標数値】 ①月6組 ②6組/回</p>
中間評価	
結果・評価	

穂高西部児童館： 地域団体と協力し合い多様なニーズに対応できる、地域で1番身近な存在を目指す	
主要事業内容	<p>子育て支援事業として、病児・障がい児親子対象の「おしゃべり会」の継続と「にじいろキッズパーク」を新規に実施します。「おしゃべり会」では、さまざまな個性を持った子ども達、その家族が安心して地域でのびのびと成長できるよう、思いや悩み、情報共有ができる場を作ります。またボランティアさんに協力していただくことで、地域交流の場となるようにします。「にじいろキッズパーク」は、病児、障がい児ご家族を対象とした登録制親子サークルです。児童館を通して地域の方と出会い、さまざまな体験をし地域の方との繋がり作りに努めます。</p> <p>【指標】「おしゃべり会」「にじいろキッズパーク」実施回数 【目標数値】年間各10回</p>
中間評価	
結果・評価	

穂高北部児童館：「行事の多さ」と「きれいで快適な環境」で利用者増を図ります	
主要事業内容	<p>「ハッピーバースディ」は、誕生月のお子さんとうそでない方も参加し、お友達からお祝いしてもらおう「嬉しさ」と、同じ境遇の仲間との「繋がり」を実感し、子育ての活力として頂くことを目的に実施します。撮った写真をお誕生日カードと共にプレゼントし、季節をテーマにした制作、参加型の劇、パネルシアター等を実施します。他にも「ぴよぴよおしゃべりタイム」や「ベビーマッサージ」「スクラップブック」など、子育て支援事業の実施回数を増やして取り組みます。また、新館の充実した環境を維持し、清潔かつ快適に過ごせる空間を提供します。</p> <p>【指標】 事業への参加者数 【目標数値】 毎回12組(年12回の実施)</p>
中間評価	
結果・評価	

三郷児童館：「児童館に来ると笑顔になれる」そんな居場所を目指します	
主要事業内容	<p>三郷地域の名産品「リンゴ」からネーミングした乳幼児親子対象の行事「リンゴちゃんタイム」を定期的を実施します。この行事は令和4年度から試行的に実施し定着してきています。季節の行事や工作など、親子で楽しめる30分程の内容を企画し、気楽に参加でき、楽しい体験をして笑顔になって貰えることを狙い実施します。また、「りんごちゃんタイム」に加え、日々行っている体操や読み聞かせの時間を「りんごっこ」というネーミングで実施し、親子で楽しく利用できる身近な場所が「児童館」という認識を持って貰うことを目指していきます。</p> <p>【指標】「りんごちゃんタイム」実施回数 【目標数値】年10回以上</p>
中間評価	
結果・評価	

堀金児童館：子どもまなか児童館～子どもたちの笑顔のために	
主要事業内容	<p>児童館が小中高生の居場所として定着してきており、遊びだけでなく愚痴や相談に訪れる子が増えています(R4年度1,800人見込み)。この状況が継続・発展するよう、チャレンジタイムの中で年4回子どもたちの意見を取り入れた内容を展開し、子どもの自主性、社会性を育むことを目指します。また、地域のボランティア、児童クラブ生、乳幼児親子等の異年齢交流を通し、自己肯定感を育んでいきます。18歳までの子どもたちの声に耳を傾け、地域に愛される安心してホッと笑顔になる児童館(居場所)を目指します。</p> <p>【指標】小中高生の自由来館者数 【目標数値】年間2,000人以上</p>
中間評価	
結果・評価	

明科児童館：好んで選び、利用して頂ける、多様な居場所に	
主要事業内容	<p>子育て支援事業において、「AR」(Akashina Railway の略称)をさらに充実させます。ARは、地域の環境にイメージを得た電車に関する環境設定であり、乗れる電車や大型プラレールコーナーを常設し、年2回イベントを開催します。青少年育成事業においては、「クライミング体験会と教室」の実施を中心に、既存のクライミング設備の活用拡大を図ります。また、地域ふれあい事業では「外活！児童館」と称し、地域の自然環境を舞台とした新たな事業を展開します。以上の3事業を主として、参加者及び来館者の増加を目指します。</p> <p>【指標】①事業参加者数 ②来館件数 【目標数値】①1回8組 ②1日6組</p>
中間評価	
結果・評価	

介護事業課

安曇野社会福祉協議会
介護事業課 ビジョン
—Vision of welfare work team—

生きにくさ、暮らしにくさを抱えた
高齢者・障がいのある人が
“生まれてきて良かった”
と思える人生作りに貢献する



「生きにくさ、暮らしにくさ」とは、
できていたことができなくなった。
人の役に立てない。
人から関心をもたれない。
こんな気持ちから生じる「悲しさ」「苦しさ」です。



「生まれてきて良かった」とは、
自分を求め、自分を受け入れてくれる人たちがいる。
辛く悲しいこともあったが、こんな人たちに囲まれて今の自分は幸せだ。
そんな自分を誕生させてくれたことに対する感謝の気持ちです。

「人生づくりに貢献する」とは、
その人が自分の人生を「いい人生だった」と感じられるように関わること。
そして、これからの人生にも希望をもてるよう関わることです。

地域包括ケアシステム構築に
向けて、社協事業所は地域と
協働していきます。



介護事業課	介護保険サービス事業
事業名	居宅介護支援事業/介護予防支援事業
会計処理区分	社会福祉事業/介護保険サービス事業/居宅介護支援事業

目的と概要 要介護者及び要支援者が、必要なサービスを適切に利用し、できる限り自立した生活が行えるよう、居宅介護支援専門員（ケアマネジャー）が本人及び家族の意向や心身の状況、環境等を勘案してケアプラン（又は予防プラン）を作成し、サービス事業者との連絡調整等を行うサービスです。この内、要支援者（予防給付の対象者）に対する介護予防支援事業は安曇野市からの受託事業です。

R5 年度	（主なものを1つ）
目標と手段	職員が他のケアマネジャーの担当者会議に同席することで、職員の相互評価を行う体制を整備します。
指標と数値	職員が年1回以上他のケアマネジャーの担当者会議に同席します。
結果と評価	
今後の方針	

ケアプラン及び予防プランの作成件数（件）						
項目	H30	R1	R2	R3	R4 見込	R5 目標
介護	7,095	7,496	7,576	8,035	7,750	8,000
予防	3,879	3,836	3,967	3,999	3,800	4,000
合計	10,974	11,332	11,543	12,034	11,550	12,000

介護事業課	介護保険サービス事業
事業名	通所介護事業（デイサービス）
会計処理区分	社会福祉事業/介護保険サービス事業/通所介護事業

目的と概要 介護が必要な方を自宅まで送迎し、食事（昼）、入浴、機能訓練及びレクリエーション等の日中のサービスを提供します。事業対象者・要支援・要介護の方の重度化予防（身体面、認知面双方）と介護者の介護負担軽減に資することで、在宅生活の継続に貢献します。安曇野市の指定管理4施設と法人所有1施設にて運営しています。

R5 年度	（主なものを1つ）
目標と手段	新規利用者獲得増のために、デイサービスの利用を通じてご利用者が「できるようになったこと」「達成できた目標」を伝える“成果発表会”を開催します。
指標と数値	上半期中に各デイサービスで1回ずつ開催します。
結果と評価	
今後の方針	

デイサービス利用延人数（人）						
事業所名	H30	R1	R2	R3	R4 見込	R5 目標
豊科デイ	10,267	9,477	9,331	9,336	9,500	9,900
穂高デイ	9,098	9,163	8,969	9,026	9,300	9,900
三郷デイ	10,652	10,707	9,987	8,527	7,500	9,200
堀金デイ	10,424	9,611	9,680	9,119	8,900	9,700
明科デイ	9,760	9,376	8,581	8,585	8,400	9,100
合計	50,201	48,334	46,548	44,593	43,600	47,800

介護事業課	介護保険サービス事業
事業名	訪問介護事業（ホームヘルプサービス）
会計処理区分	社会福祉事業/介護保険サービス事業/訪問介護事業

目的と概要 介護福祉士等の専門資格を有するホームヘルパーが、介護の必要な方の自宅を訪問し、排せつ、食事等の介護（身体介護）や調理、掃除等の家事（生活援助）のサービスを提供します。家族介護をカバーし、利用者本人の自立をできる限り支援することで、利用者及び家族の家庭生活を支えるとともに、介護に限らない利用者周辺の生活課題を「つかみ」、課題解決へ「つなぐ」ことにより、利用者及び家族の地域生活を支援していくことが目的です。平成 29 年度から「介護予防・日常生活支援総合事業」の訪問型サービスAの事業も行っています。

R5 年度	（主なものを1つ）
目標と手段	個別介護マニュアルを改定することで、訪問介護サービスの質の均一化を図り、利用者の満足度を高めます。
指標と数値	利用者ごとにチームを作って、1事業所あたり10人分の個別サービスマニュアルを改定します。
結果と評価	
今後の方針	

訪問介護サービス利用延時間（時間）						
事業所名	H30	R1	R2	R3	R4 見込み	R5 目標
北部ヘルパ°	12,007	12,380	12,650	12,090	14,000	14,800
南部ヘルパ°	20,971	19,939	19,709	18,389	17,000	20,000
東部ヘルパ°	13,664	12,641	11,487	9,993	9,200	11,800
合計	46,642	44,960	43,846	40,472	40,200	46,600

介護事業課	介護保険サービス事業／障がい福祉サービス事業
事業名	障害者居宅介護事業（障害者・児ホームヘルプサービス）
会計処理区分	社会福祉事業／介護保険サービス事業／訪問介護事業

目的と概要 障がい者(児)を対象としたホームヘルプサービスで、市内 3 か所(北部・南部・東部)のホームヘルプステーションにおいて、介護保険の訪問介護事業と一体的に運営しています。相談支援専門員や行政担当者は勿論、社協の地域福祉課とも連携し、利用者及びその家族の生活課題を「つかみ」、課題解決へ「つなぐ」ことにより、「どんな障がいがあっても、安心して、その人らしく暮らせる地域づくり」に貢献します。

R5 年度	(主なものを1つ)
目標と手段	相談支援専門員との連携を図り、サービス等利用計画に基づいてその人らしい生活を送ることができるよう、個別介護マニュアルを作成します。
指標と数値	利用者ごとにチームを作って、個別介護マニュアルを改定します。
結果と評価	
今後の方針	

障害者(児)ホームヘルプサービス利用延時間 (時間)						
事業所	H30	R1	R2	R3	R4 見込	R5 目標
北部ヘルパ-	1,565	1,632	1,563	1,587	1,200	1,600
南部ヘルパ-	4,250	4,054	4,275	4,311	4,300	3,900
東部ヘルパ-	2,292	2,261	2,297	2,396	1,900	2,400
合計	8,107	7,947	8,135	8,294	7,400	7,900

介護事業課	介護保険サービス事業/障がい福祉サービス事業
事業名	訪問看護事業
会計処理区分	社会福祉事業/介護保険サービス事業/訪問看護事業

目的と概要 看護師、理学療法士又は作業療法士が、主治医の指示書に基づいて利用者の自宅を訪問し、利用者の心身の健康管理、医療機器の管理、排せつや栄養の管理、スキンケア、リハビリテーション、ターミナルケア等の医療サービスを提供します。医療的なケアが必要な要介護者が、どんな病気や障がいであっても住み慣れた家と地域で、安心して、できるかぎり自立した生活を営めるよう、医療の面から支援していくことが目的です。事業所は1ヶ所(穂高)で、市内全域をカバーします。

R5 年度	(主なものを1つ)
目標と手段	ICTを活用することで業務の効率化を進め、カンファレンスの時間をしっかり確保します。
指標と数値	現在月2時間のカンファレンスの時間を、週1時間に増やします。
結果と評価	
今後の方針	

訪問看護利用延時間 (時間)						
項目	H30	R1	R2	R3	R4 見込	R5 目標
介護保険	2,726	3,073	3,342	2,873	2,600	2,620
医療保険	326	469	564	638	600	640
合計	3,052	3,481	3,906	3,511	3,200	3,260

介護事業課	その他の事業
事業名	福祉有償運送サービス事業（STS）
会計処理区分	社会福祉事業/介護保険サービス事業/訪問介護事業

目的と概要 介護保険制度で認定された要介護者及び障害のある方のうち、非課税者を対象とした通院支援を主な目的とし、認定研修を修了したホームヘルパーが運転(病院と自宅の送迎)と必要な介助をセットで行うサービスです。安曇野市福祉有償運送運営協議会において決定された運行規則に従って運営されており、明科地区の対象者に限定して実施しています。

R5 年度	(主なものを1つ)
目標と手段	常に安全運転に努め、利用者の状態に応じた適切な介助を行います。
指標と数値	利用中の状態変化に気を配り、急変時には必要な対処に努めます。
結果と評価	
今後の方針	

福祉有償運送サービス事業利用延回数 (回)						
項目	H30	R1	R2	R3	R4 見込	R5 目標
利用延回数	542	484	220	370	15	70

介護事業課	介護保険サービス事業／その他の事業
事業名	拠点介護予防教室事業
会計処理区分	社会福祉事業/受託事業/拠点介護予防事業

目的と概要 安曇野市の一般介護予防事業として平成 28 年度から穂高地区、明科地区、三郷・堀金地区について受託し、1 会場 12 回の教室による事業を開始しました。この事業の目的は、参加者が要介護状態等になる事を予防すると共に、自主的な介護予防活動への取り組みを促すもので、当会の様々なネットワークを活用し、事業の実施と併せて自主活動の継続支援を行います。

R5 年度	(主なものを 1 つ)
目標と手段	教室終了後も自主的な介護予防活動を継続できるよう、サークル立ち上げの支援をいたします。
指標と数値	受託している3会場中 2 会場で、新規に自主的な体操サークルが立ち上がる。
結果と評価	
今後の方針	

障がい福祉課



すみれの郷
「ぼかし」作り

障がい福祉課	相談支援事業
事業名	相談支援事業（相談支援センターぶれす）
会計処理区分	社会福祉事業/障がい福祉サービス事業/相談支援事業

目的と概要

障がい者（児）が必要なサービスを適切に利用することにより、安心して地域生活を送ることができるように、本人及び家族の意向や心身の状況等を踏まえ、障害福祉サービスの利用計画を作成し、定期的に見直しを行います（計画相談支援・障害児相談支援）。また、施設に入所中又は病院に入院中の障がい者が、退所（退院）して地域生活に移行するために必要な相談支援を行い（地域移行支援）、さらに地域生活開始後のフォローも実施します（地域定着支援）。

R5 年度	（主なものを1つ）
目標と手段	障がい福祉サービスの窓口としてきめ細かな情報提供を行い、適切な事業所利用に繋がります。
指標と数値	プラン作成件数+モニタリング実施数 35 件/月
結果と評価	
今後の方針	

相談センターぶれすの相談支援件数（件） ※数値は計画作成及びモニタリングの合計						
項目	H30	R1	R2	R3	R4 見込	R5 目標
計画相談	405	310	345	330	335	340
障害児相談	70	61	83	85	65	80
地域相談	0	0	0	0	0	0
合計	475	371	428	415	400	420

障がい福祉課	就労支援事業
事業名	障害者就労継続支援B型事業 (豊科たんぼぼ、堀金かえでの家)
会計処理区分	社会福祉事業/障がい福祉サービス事業/就労継続支援B型事業

目的と概要 一般就労が困難な障がい者に働く場を提供するとともに、社会生活に必要な能力向上を目的とした訓練を行います。「豊科たんぼぼ」及び「堀金かえでの家」は、利用者が「できること」を活かし助け合いながら、クッキー、装飾ろうそく、手芸・工芸品等のオリジナル商品の製造・販売や喫茶コーナー、清掃・洗車及び企業からの受託事業等に従事して収入を得ています。また、「働く」ことだけでなく、各々の「暮らし」を豊かにするための知識やスキルを習得することも目指しています。

R5 年度	(主なものを1つ)
目標と手段	たんぼぼ: 作業内容の見直しを進めます。 かえで : かえで焼き季節商品の入替回数増と新規小売商品販売で、1か所ごとの売上げを伸ばし、工賃アップに繋がります。
指標と数値	たんぼぼ: 施設外で実施している作業を減らし作業を集約する。施設外作業を2種以上減らす。 かえで : 季節商品2か月ごと入替、平均工賃月額: 30,000円
結果と評価	
今後の方針	

豊科たんぼぼ・堀金かえでの家の利用延人数及び平均工賃月額						
事業所名及び項目	H30	R1	R2	R3	R4 見込	R5 目標
豊科たんぼぼ						
利用延人数(人)	5,070	4,962	4,875	4,567	4,228	4,500
平均工賃月額(円)	19,189	17,548	15,357	16,754	18,500	19,000
堀金かえでの家						
利用延人数(人)	3,772	4,298	4,358	4,578	4,586	4,570
平均工賃月額(円)	30,651	26,712	27,464	27,484	28,000	30,000

障がい福祉課	就労支援事業
事業名	障害者就労継続支援B型事業 (ま・めぞん、豊科じゃんぷ)
会計処理区分	社会福祉事業/障がい福祉サービス事業/就労継続支援B型事業

目的と概要 一般就労が困難な障がい者に働く場を提供するとともに、社会生活に必要な能力向上を目的とした訓練を行います。「ま・めぞん」では安曇野市産の大豆にこだわり、安全安心で高品質な豆腐作りと販売を行い、やりがいを感じながら仕事を続けられるように支援を行います。

「豊科じゃんぷ」では、「一般就労を目指すB型事業所」として、多くの企業見学や職場体験を通し、「自分で見ると知る、やってみることで分かる」を大事にした支援を行います。

R5 年度	(主なものを1つ)
目標と手段	ま・めぞん: 利用者の工賃アップを図るため、大口販売先を開拓します。 じゃんぷ : 生活面を含め、それぞれの段階に合わせた個別の対応を行い、「働く」ための準備を整えます。
指標と数値	ま・めぞん: 大口販売先 3 か所, 豆腐販売: 118 丁/日 豆乳販売: 15 本/日 じゃんぷ : 新規利用者 3 名
結果と評価	
今後の方針	

ま・めぞん、豊科じゃんぷの利用延人数他						
項目	H30	R1	R2	R3	R4 見込	R5 目標
ま・めぞん						
利用延人数(人)	2,207	1,811	1,861	2,150	2,312	2,520
平均工賃月額(円)	43,034	34,701	37,200	42,105	35,800	35,000
豊科じゃんぷ	※豊科じゃんぷ H30～R1 は就労移行支援事業所の実績					
利用延人数(人)	1,618	1,002	116	817	214	700
一般就労(人)	4	3	0	0	2	1

障がい福祉課	地域活動支援センター
事業名	地域活動支援センター事業 (穂高わたぼうし、三郷すみれの郷、明科ふきぼこの家)
会計処理区分	社会福祉事業/障がい福祉サービス事業/地域活動支援センター受託事業

目的と概要 障がい者が「身近で安心して過ごせる場」で、障がいの程度に合わせて必要な医療的ケア又は日常生活のケアを受けながら、作業活動、余暇活動及び地域との交流等を行う事業です。利用者の「できること」を活かし、「やりたいこと」を尊重して、仲間と楽しく豊かな時間をつくとともに、生活技能や社会性の習得、さらには社会参加の機会を提供することが目的です。また、手工芸品等の自主製品の販売収入は工賃として利用者に支給されます。

R5 年度	(主なものを1つ)
目標と手段	わたぼうし: 家庭状況や、利用者さんの体調・体力に併せて適切な利用日数や時間を提供できるように工夫していきます すみれ: 利用者・ご家族と面談し、改善点を検討して満足していただける支援をします。 ふきぼこ: 利用者に寄り添い話を聴き、自分のやりたいこと等思いを伝えられるよう支援します。
指標と数値	わたぼうし: 他事業所見学、体験 1~2 回/1 人 すみれ: 利用者・家族との面談(1~2 回/年)、職員間での報告確認(適宜) ふきぼこ: 利用者との面談・職員間の支援共有/毎月
結果と評価	
今後の方針	

地域活動支援センター利用延人数 (人)						
事業所名	H30	R1	R2	R3	R4 見込	R5 目標
穂高わたぼうし	1,911	1,806	2,071	1,881	1,800	1,900
三郷すみれの郷	1,694	1,349	1,084	1,035	1,083	1,100
明科ふきぼこの家	2,147	2,550	2,597	2,502	2,305	2,500

障がい福祉課	生活介護事業等
事業名	障害者生活介護/児童発達支援/放課後等デイサービス事業 (ほっぷライフ・穂高わたぼうし)
会計処理区分	社会福祉事業/障がい福祉サービス事業/障がいデイサービスセンター事業

目的と概要

介護が必要な障がい者(児)を対象としたデイサービスで、「障害者生活介護」は18歳以上、「児童発達支援」は未就学児童、「放課後等デイサービス」は就学中の障がい児が対象です。「ほっぷライフ」ではこれらのサービスを一体的に運営しています。看護師配置を手厚くし、かつ介護スタッフの専門性を高めることにより、医療的ケアが必要な重度の障がい者(児)を積極的に受け入れています。また、安全を確保した上で「ほっぷライフならではの」楽しい活動や外出等のメニューを揃えています。「穂高わたぼうし放課後等デイサービス」では、様々な療育プログラムを提供し、楽しく体験しながら社会生活に役立てていけるよう支援しています。

R5 年度	(主なものを1つ)
目標と手段	ほっぷライフ: 利用者の日中の過ごし方のニーズを把握し、余暇活動や行事などに取り入れ利用者の満足度を高めます。 わたぼうし: 行動障がいのある方への支援を充実します。
指標と数値	ほっぷライフ: 生活介護新規利用者4名以上、放課後デイ新規利用者2名以上 わたぼうし: 外部研修会参加1回/1人、強度行動障害研修参加
結果と評価	
今後の方針	

ほっぷライフ・わたぼうし利用延人数(人)

事業所	項目	H30	R1	R2	R3	R4 見込	R5 目標
ほっぷ ライフ	生活介護	2,684	2,694	2,654	2,709	2,880	2,980
	放課後デイ	1,502	1,276	819	895	1,010	950
	日中一時	62	80	148	86	50	50
わたぼうし	放課後デイ	2,893	2,902	2,589	2,500	2,500	2,000

総務課

わたしたちがめざす職員像

「社協人^{マン}」とは。

「支えあい 誰もが安心して暮らせる福祉のまち 安曇野」の実現をめざすチームの一員としての自覚と責任を持ち、チーム目標の達成に向けて、各々の専門性、能力、経験、個性及び感性を大いに発揮します。また、何よりも健康と仲間を大切に、互いに認め合い、支え合い、高め合って成長しようとする職員です。

なろうよ、社協人に！



総務課	人事/リスクマネジメント
事業名	交通事故の防止
会計処理区分	社会福祉事業／地域福祉事業／法人運営事業

目的と概要 各職員が公用車 130 台又は借上げ車両の運転者として、利用者の送迎や訪問業務に就いています。業務上の車両事故を防ぐだけでなく、安曇野市全体の交通安全の向上に資することが求められます。

R5 年度	(主なものを1つ)
目標と手段	発車前の車両点検を徹底するべく、月に1回の周知を行うとともに、運転者自身の体調チェックや道路交通法の改正によるアルコール検知器を昨年導入し、運転前後のチェックを実施しています。チェックの徹底により交通安全意識の向上を図ります。
指標と数値	無事故を目指します。
結果と評価	
今後の方針	

みんなで守ろう! 『社協走り』

- 1 乗る前の 周囲確認 忘れない
- 2 昼点灯 ライトと気持ちの スイッチON
- 3 遅れても いつもの道を 選ぶべし
- 4 急ぐほど ゆっくり走るが 社協人
- 5 交差点 3回止まって 右・左
- 6 おこうでも 止まるはずだ と思っている



総務課	人事/ワークライフバランスの実現
事業名	ワークライフバランスのとれた職場の実現
会計処理区分	社会福祉事業/地域福祉事業/法人運営事業

目的と概要 職員の意欲と・能力を十分発揮し、やりがいをもって仕事の責任と役割を果たしてもらおうとともに、家庭や地域、友人や趣味などに関わる個人の大切な時間が確保できるよう努めることが法人にとって大切な役割であると捉えます。仕事と生活双方の調和が図られ、職員の豊かな人生に資することを目指した働き方の実現を進めます。

働く方の置かれた個々の事情に応じた多様な働き方ができる職場づくりにより、福祉職の担い手を確保することで長時間労働の削減と有給休暇の取得につなげていきます。

R5 年度	(主なものを1つ)
目標と手段	有給休暇の計画的取得のため、職員の取得状況について確認を行います。
指標と数値	年度内に有給休暇5日以上取得
結果と評価	
今後の方針	

月平均残業時間及び平均年休取得率							
項目	H30	R1	R2	R3	R4 見込	R5 目標	
月平均残業時間 総合職	8.49	8.95	6.80	8.30	8.0	7.5	
	一般職	4.96	4.76	2.69	4.70	4.2	3.5
10 時間未満達成事業所	78.3%	66.0%	80.0%	82.2%	83.0%	85.0%	
平均年休取得率 総合職	38.3%	49.7%	47.2%	51.8%	---	---	
	一般職	58.5%	68.3%	59.4%	54.9%	---	---
	専任職	66.2%	70.4%	64.9%	68.5%	---	---

総務課	人事/多様な働き手の就業促進
事業名	障がい者の雇用
会計処理区分	社会福祉事業/地域福祉事業/法人運営事業

目的と概要 働きたいという障がい者のニーズに対し、当会の職員として雇用を促進します。そのために必要な支援を行いながら、障がいを持つ職員が生き生きと働ける「場」を積極的につくることで、職員全員が働きやすい職場づくりに貢献していきます。

R5 年度	(主なものを1つ)
目標と手段	障がい者雇用について、職員が理解することが重要であり、そのための研修等を行いながら、各職場と協力し障がい者が働くことのできる「場」を見出します。また、ハローワークに協力を求めながら、就業可能な求職者とのマッチングを行います。さらに、障がい福祉課と連携し就業後の定着支援を図ります。
指標と数値	新規障がい者雇用:1名
結果と評価	
今後の方針	

総務課	人事/納得性の高い人事制度の実現
事業名	人事評価制度の実施
会計処理区分	社会福祉事業/地域福祉事業/法人運営事業

目的と概要

職員が働きがいを持てる環境、職員が働きやすい環境を整備するためには、公平で適正な処遇体系を確立することが重要です。職員の成果が適切に評価される納得性の高い制度の構築は、職員の法人に対する貢献度を高めることにもつながります。その実現のために、人事評価制度を実施します。それによって法人が望む職員像を明確にしながら、そこを目指す職員の育成につなげることで、最終的に法人全体のサービスの向上を図ります。

R5 年度	(主なものを1つ)
目標と手段	目標設定や評価者研修を通じ、適正な評価が行えるよう評価精度の向上を目指します。また、面談を通じ評価結果の通知を行うことで、新たな目標設定や能力の向上を図っていきます。本格実施に向け検討を進めます。
指標と数値	評価者研修の実施
結果と評価	
今後の方針	

総務課	情報発信の充実
事業名	広報誌の発行・ホームページの更新
会計処理区分	社会福祉事業/地域福祉事業/法人運営事業

目的と概要 広報誌やホームページで情報発信の充実を図ります。依然としてある「社協の知名度が低い」「市と区別がつかない」という住民の声にどう対応するかが課題です。その課題解決により住民の地域福祉への理解を一層深めることもねらいとします。

R5 年度	(主なものを1つ)
目標と手段	広報誌・ホームページへの掲載について、掲載内容が地域福祉の観点から捉えたものであることを各課と連携し確認しながら行います。また、知名度を上げる具体的方策を研究します。
指標と数値	訪問者数：200人/日（現在176人/日）
結果と評価	
今後の方針	

ホームページ・広報誌は皆さまと一緒に作っていきます。ご意見・ご提案をお待ちしています！



検診等の実施計画

検診等	実施期間・回数	会場	対象
基本健診	7/1～9/30（6回）予定	本所・各支 所	全職員
乳がん検診	8/31・9/1・9/12（3回）予定		女性職員
子宮がん検診	個別実施		女性職員
インフルエンザ予防接種	11/10～12/8（5回）予定		全職員
ストレスチェック	9月 予定		週30時間以上勤務者

法人内職員研修の実施計画（総務課主催のみ）

研修名	開催予定回数		
新任職員研修	2回(上半期・下半期)		
財務研修	2回(上半期・下半期)		
人事労務管理研修	2回		
接遇研修	1回		
評価者研修	1回		
安全衛生研修	1回		
災害時対応研修(総合職員対象)	1回		
コース別研修	各2回		

広報誌等の発行計画

種類	発行予定
社協だより あづみん (10頁版)	年6回 偶数月 105号～110号
あづみん お知らせ版	年6回 奇数月

役員会等の開催計画

会議名	開催日	会場
理事会	5月、6月、11月、3月	堀金
評議員会	6月、11月、3月	堀金
経営会議	1回/月	本所外